

7月15日

テーマ：「ダニエル」

聖書箇所：ダニエル書6章1節～24節

◆今日のみことば

ダニエルは、その文書の署名がされたことを知って自分の家に帰った。——彼の屋上の部屋の窓はエルサレムに向かってあいていた。——彼は、いつものように、日に二度、ひざまずき、彼の神の前に祈り、感謝していた。ダニエル書6章10節

◆メッセージ

山に登るのが好きな人はたくさんいます。でも最初から高い山には登れません。少しずつ練習して、高い山に登れるようになります。信仰の歩みもそうではないでしょうか。初めから苦しいこと、大変なことを乗り越える力は誰も持っていません。御言葉を聞き、毎日祈り続けることの中で、神さまへの信頼を少しずつ持つことができるようになっていくのだと思うのです。

今日の箇所では、ダニエルさんがペルシヤのダリヨス王に仕えていたことが書かれています。ダニエルさんには神さまの知恵と力が与えられていましたので、王さまはダニエルさんを頼り、大きな仕事を任せていました。しかし、それが面白くない大臣たちがいたのです。ねたみの心で彼らは一つの罠をしかけます。それは「これから三十日間、王さま以外を拝み、お祈りする者は獅子の穴に投げ込まれる」というものでした。それは、ダニエルさんが毎日神さまにお祈りをしていたことを知っていたからです。ダニエルさんは、この命令が出されても、あわてることなく、いつも何とも変わりなく、神さまにお祈りしました。神さまが、必要な助けを与えてくださることを体験してきたからです。前に、偶像にささげた肉を食べなかつたときも、そうだったでしょう。



見張っていた大臣たちが「王さまの命令に従わなかった。」と騒ぎ立て、ついにダニエルさんは、ライオンのいる穴に投げ入れられてしまいました。ライオンに囲まれて、食べられてしまったでしょうか。いいえ、神さまはダニエルさんを守ってくださいました。私たちも毎日御言葉を聞き、神さまにお祈りしましょう。その積み重ねがあれば大きな試練の前でも、慌てることなく、神さまを信頼し、その助けの中で乗り越えていけるのです。

私たちの生活の中では、このようなことはないと思いますか。しかし、日本でも昔、戦争中には同じようなことがありました。そして、再び、まことの神さま以外を礼拝するように命令される時代が来ないとも言えません。そのような時、私たちはどうするでしょうか。その時になってから考えても、弱い私たちはきっと慌てるだけになってしまうかもしれません。いつもと変わらずに、となるように、神さまに祈っていきましょう。

◆お祈り

「いつでも、どんなことでも神さまにお祈りし、試練の時にも慌てることなく、神さまの助けを信じることができますように。」

(衣笠中央キリスト教会牧師 三浦峰人)